

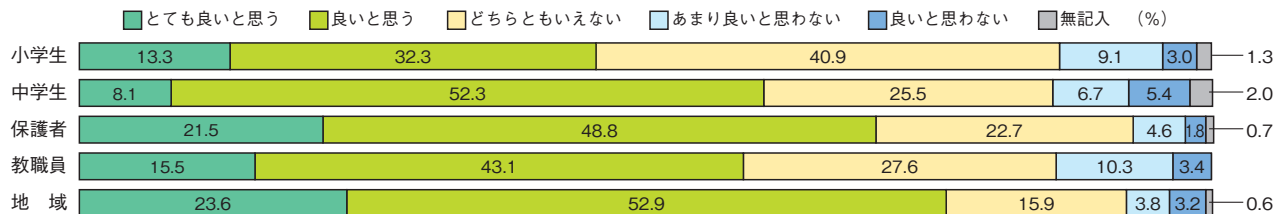
小中一貫教育校だより

このお知らせは、「練馬区立小中一貫教育校推進委員会」の協議内容等について、保護者や地域の皆様へお知らせするために発行しています。今回は、平成21年12月16日(水)第7回推進委員会の協議内容等についてお知らせします。

◆練馬区立小中一貫教育校に関するアンケート調査結果報告

大泉学園桜小学校、大泉学園緑小学校および大泉学園桜中学校にかかわる小学生(4～6年)、中学生(1～3年)、保護者(小1～中3)、教職員、地域住民(20歳以上)を対象に実施した小中一貫教育校に関するアンケート調査結果(実施時期：平成21年9月17日～10月16日)について、詳細な報告がありました。その一部を紹介します。

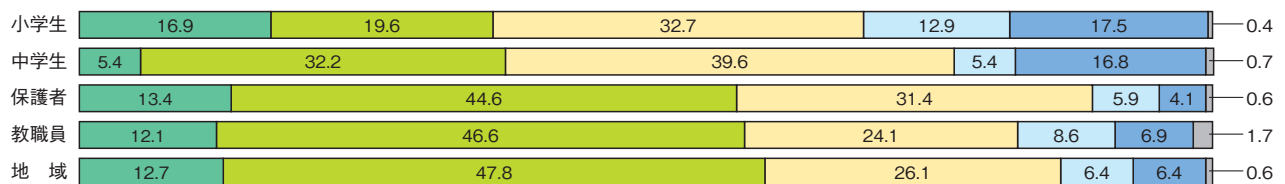
〔質問〕9年間(小1～中3)にわたる一貫した教育課程のもとで、計画的、継続的な学習指導および生活指導において発達段階に応じたきめ細かい指導を行います。



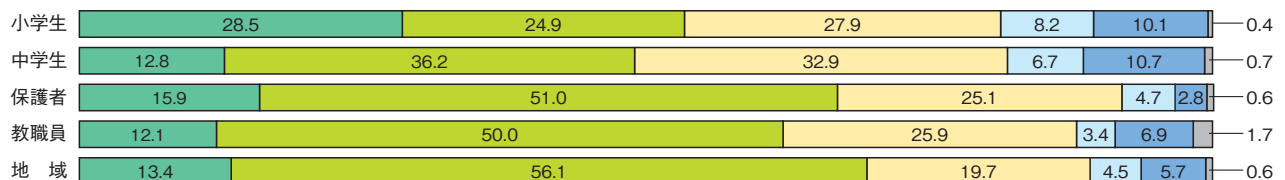
〔質問〕統一校名(通称名)を決めることを検討しています。



〔質問〕統一校歌(愛唱歌)を決めることを検討しています。



〔質問〕統一校章(シンボルマーク)を決めることを検討しています。



〔小中一貫教育校に関するアンケート調査〕より

◆今後、アンケート調査結果を参考にしながら、小中一貫教育校の教育内容や学校経営、統一校名・校歌・校章などについて具体的な実施計画を検討していきます。



◆標準服検討委員会を設置

小中一貫教育校の標準服を検討するために、大泉学園桜小学校および大泉学園桜中学校において、保護者、教職員の代表を構成員とする標準服検討委員会が設置されました。12月16日第1回検討委員会では、検討スケジュールおよびアンケートの実施が確認されました。

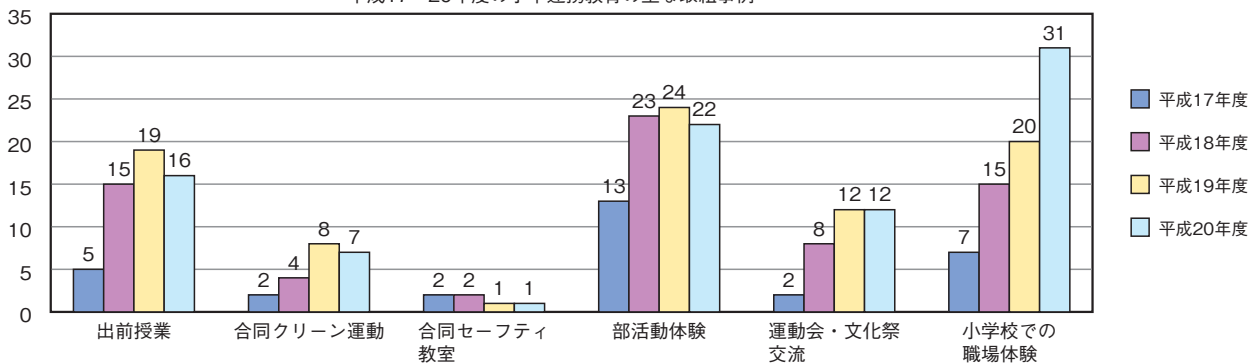


◆小中連携教育について

練馬区の小中連携教育について説明がありました。練馬区では小中一貫教育校の設置を見据え、平成17年度から小学校と中学校の連携教育に取り組み、平成18年度からは教育課程に位置付けています。

具体例としては、中学校の教員が行う小学校での出前授業や小中学生共同のクリーン運動あるいは小学校を職場とする中学生の職場体験などがあります。

平成17～20年度の小中連携教育の主な取組事例



●小学生の部活動体験参加等の報告

小中一貫教育校に向けての部活動の取り組みについて、大泉学園桜中学校長および大泉学園緑小学校長からの報告がありました。体力や技能の向上、好ましい人間関係の育成を図ることを目的として、大泉学園桜小・中学校から6年生を対象に中学校の部活動への参加を呼びかけました。その際、大泉学園桜中学校の通学区域と一部重なる大泉学園緑小学校にも部活動参加を呼びかけました。昨年11月24～27日に桜小と緑小の児童が意欲をもって参加し、良い経験となりました。本年1月および2月にも実施する予定です。

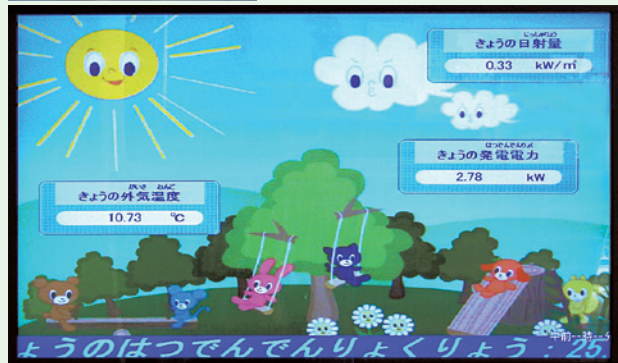
また、大泉学園桜小学校長から、小学校の展覧会に中学生の作品を展示し、児童や保護者、地域の方々の評判が大変よかったとの報告がありました。

●太陽光発電装置が設置されました

第3号でもお知らせしましたが、昨年12月末、大泉学園桜小学校に太陽光発電の装置が設置され、本年1月末から稼動する予定です。



大泉学園桜小学校屋上に設置した太陽光パネル(左) 玄関口に設置した発電電力量を示すモニター画面(下)



練馬区立小中一貫教育校推進委員会事務局

練馬区教育委員会 学校教育部 新しい学校づくり担当課・教育指導課
TEL: 03-5984-1065 FAX: 03-3993-1196

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/gakkou/atarasi/atarasi.html>

※推進委員会の資料・要点記録は、大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校、大泉学園緑小学校および新しい学校づくり担当課(区役所本庁舎12階)で閲覧できます。

推進委員会(第8回)の開催予定

日時: 1月27日(水) 10時00分～

場所: 大泉学園桜中学校(2階 会議室)

案件: 小中一貫教育校実施計画の中間報告など

※傍聴をご希望の方は、直接会場へお越しください。